

検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこの度、別掲の項目につきまして、2024年4月より検査内容を変更させていただきますのでご案内いたします。

誠に勝手ではございますが、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

●変更内容

別掲の一覧表をご参照ください。

●変更期日

2024年4月1日（月）受付日分より

コード	検査項目名	変更箇所	新	旧	備考
1602	デオキシピリジノリン (Dpyr)[骨粗鬆症]	項目コード 項目名称 測定方法 報告様式 報告下限 所要日数 保存安定性	2621 デオキシピリジノリン(DPD) [骨粗鬆症] CLEIA DPD濃度(nmol/L) クレアチニン濃度(mg/dL) クレアチニン補正值 (nmol/mmol・Cr) DPD濃度:7.0 nmol/L 未満 2~5日 7日	1602 デオキシピリジノリン(Dpyr) [骨粗鬆症] EIA クレアチニン補正值 — 3~6日 6週	測定試薬の変更
1633	肺サーファクタント プロテイン D(SP-D)	測定方法	LA(ラテックス凝集比濁法)	CLEIA	新旧二法の相関 は良好で基準値等 の変更はございませ ん。
0023	活性化部分トロンボプラ シン時間(APTT)	基準値	24.0~34.0 秒	23.5~42.5 秒	測定試薬の変更
2327	パルボウイルス B19-DNA 同定	項目名称 測定方法 所要日数	パルボウイルス B19 核酸同定 リアルタイム PCR 法 2~9日	パルボウイルス B19-DNA 同定 PCR 法 5~8日	
1359	ニューモシスチス・カリニ (Pneumocystis jirovecii) -DNA 同定	項目名称 検査方法 所要日数	ニューモシスチス・イロベチイ (カリニ)核酸同定 リアルタイム PCR 法 4~8日	ニューモシスチス・カリニ (Pneumocystis jirovecii)- DNA 同定 PCR 法 5~8日	
1360	マイコバクテリウム・カンサ シ-DNA 同定	項目名称 検査方法 所要日数	マイコバクテリウム・カンサシ 核酸同定 リアルタイム PCR 法 3~10日	マイコバクテリウム・カンサシ DNA 同定 PCR 法 5~11日	
2375	HE4 (ヒト精巣上体蛋白 4)	備考	日本人卵巣癌患者における病 態の経過観察としてのカット オフ値:70.0 pmol/L 以下(閉 経前、閉経後)	—	カットオフ値の追 加
2010	ADAMTS13 活性	備考	必ず ADAMTS13 検査の専用 検体としてご提出ください (同一検体で凍結融解が不可 とされる凝固検査項目との重 複依頼は避けてください)。	—	提出条件の見直 し
2288	ADAMTS13 インヒビター 定量	備考			
1595	ルーブスアンチコアグ ラント《希釈ラッセル蛇毒 試験法》	備考	血小板の混入は、測定結果に 影響しますのでご注意ください。 抗凝固薬は、測定結果に 影響を与える可能性があります。	遠心分離条件の不適により偽 陰性となる場合がありますの で、ご注意ください。	
2289	ルーブスアンチコアグ ラント《リン脂質中和法》	備考			
2166	T-SPOT.TB (インターフェロン- γ 遊離 試験)	保存安定性 備考	54 時間 採血後、規定時間内(54 時 間以内)に検査を実施する必 要があります。 必ず指定容器を用いて、規定 量(9mL)をご提出ください。検 査に十分な細胞(末梢血単核 球)数が得られない場合は、検 査不能となる場合があります。	— 採血後、規定時間内(32 時間 以内)に検査を実施する必要が あります。 7mL 以上のご提出が必要です。 検査に十分な細胞(末梢血単 核球)数が得られない場合は、 検査不能となる場合があります。	
1539	CA602	所要日数	3~10日	3~7日	
1424	シアリル Tn 抗原(STN)	所要日数	3~9日	2~5日	
1538	CA54/61	所要日数	3~10日	3~7日	
1479	HCV サブタイプ系統解析	所要日数	5~11日	5~8日	
2237	HCV 薬剤耐性変異解析 (NS5A)	所要日数	—	8~12日	測定は月 1 回 (不定期)です。
867	プロコラーゲンⅢペプチド (P-Ⅲ-P)	所要日数	3~7日	3~6日	
671	梅毒定性《FTA-ABS》	所要日数	3~5日	3~4日	

デオキシピリジノリン[骨粗鬆症]・デオキシピリジノリン

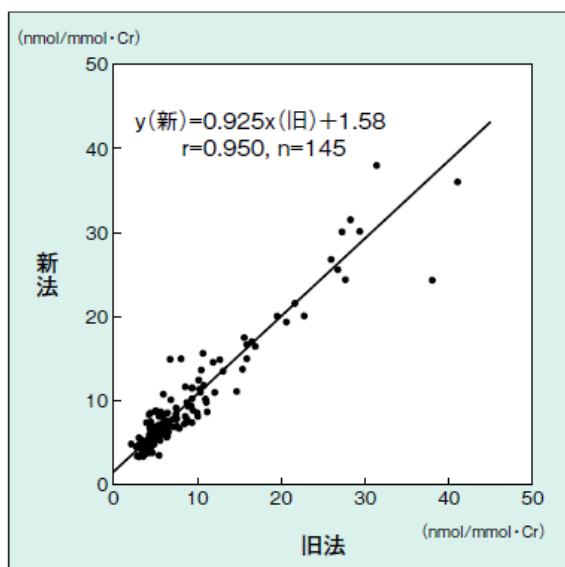
測定試薬をEIA 試薬からCLEIA 試薬に変更します。結果値はデオキシピリジノリン濃度のクレアチニン補正值の他に、新たにデオキシピリジノリン濃度とクレアチニン値も併せてご報告いたします。

新旧二法の相関は良好であり、基準値の変更はなく、所要日数を短縮いたします。なお、デオキシピリジノリン濃度が検出下限(7nmol/L 未満)の場合は、7nmol/L を用いてクレアチニン補正を行い、クレアチニン補正值は「未満」を付記してのご報告となります。

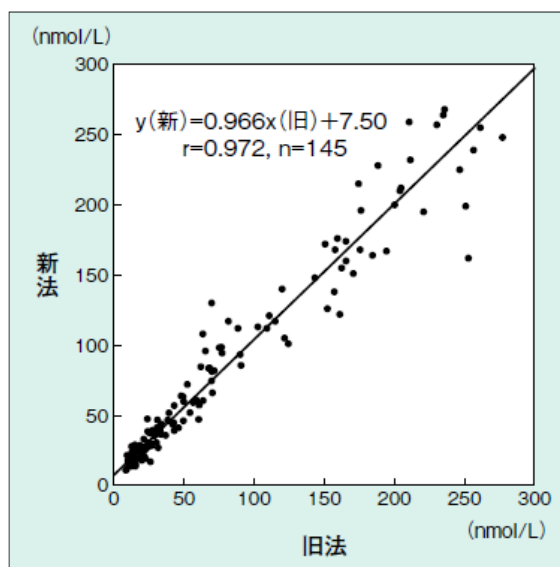
また、項目名の略称を日本骨粗鬆症学会「骨粗鬆症診療における骨代謝マーカーの適正使用ガイド」に準拠し、変更いたします。

新旧二法の相関

[クレアチニン補正值]



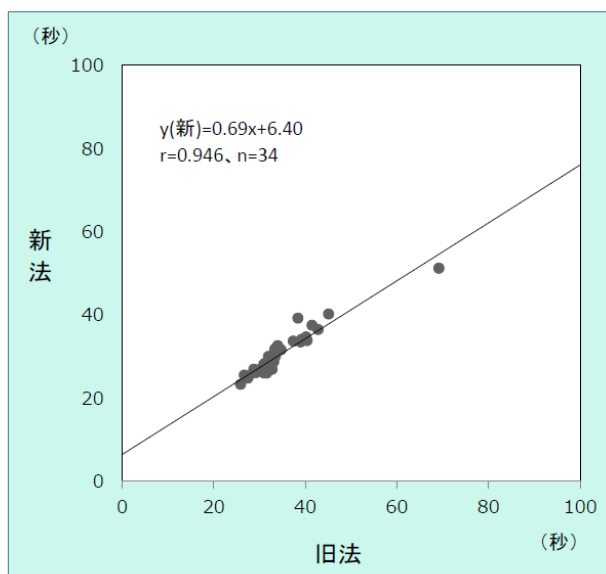
[デオキシピリジノリン濃度]



活性化部分トロンボプラスチン時間 (APTT)

現行試薬の販売中止に伴い、同一メーカーが発売する新試薬に変更いたします。新基準値は測定試薬のメーカー推奨値です。尚、新試薬はループスアンチコアグラント(LA)陽性患者様では現行試薬よりも延長傾向になります。また、経口抗凝固薬(DOAC4 剤)については新旧試薬の感受性はほぼ同等で、旧試薬ではアミノグリコシド系抗生物質の影響を受けて延長傾向を示すことがありましたが、新試薬では影響が少なくなっています。

新旧二法の相関



パルボウイルス-B19、ニューモシスチス・カリニ、マイコバクテリウム・カンサシ

測定方法を PCR 法からリアルタイム PCR 法に変更いたします。測定方法の変更に伴い、所要日数を短縮いたします。併せて、これまで項目名称をニューモシスチス・カリニ-DNA 同定は現在の学名である *Pneumocystis jirovecii* を併記しておりましたが日本医真菌学会医真菌用語集(2022 版)に準じてニューモシスチス・イロベチイに変更いたします。

新旧二法の相関

●パルボウイルス B19 核酸同定

		旧法		計
		陽性	検出せず	
新法	陽性	2	0	2
	検出せず	1	8	9
計		3	8	11

陽性一致率：66.7% (2/3)
陰性一致率：100.0% (8/8)
判定一致率：90.9% (10/11)

●ニューモシスチス・イロベチイ(カリニ)核酸同定

		旧法		計
		陽性	検出せず	
新法	陽性	3	0	3
	検出せず	0	8	8
計		3	8	11

陽性一致率：100.0% (3/3)
陰性一致率：100.0% (8/8)
判定一致率：100.0% (11/11)

●マイコバクテリウム・カンサシ核酸同定

		旧法		計
		陽性	検出せず	
新法	陽性	2	0	2
	検出せず	0	11	11
計		2	11	13

陽性一致率：100.0% (2/2)
陰性一致率：100.0% (11/11)
判定一致率：100.0% (13/13)